

タイムサーバのうるう秒対応状況について

セイコープレジジョン製タイムサーバをご利用いただきまして誠にありがとうございます。
さて、2009年1月1日午前9:00にうるう秒が実施されます。
弊社タイムサーバシリーズのうるう秒対応状況とうるう秒実施情報の取得については下記の通りです。

1. うるう秒対応機種一覧および機種別対応状況

機種	うるう秒実施情報の取得
TS-2010FM	手動により実施情報を設定してください。
TS-2010テレホンJJY	テレホンJJYサービスより自動取得します。
TS-2010長波JJY	長波帯標準電波サービスより自動取得します。
TS-2010BC(放送局用親時計接続)	手動により実施情報を設定してください。
TS-2520/2540テレホンJJY	テレホンJJYサービスより自動取得します。
TS-2520/2540セカンダリ	上位NTPサーバに依存します。
TS-2530/2540GPS	GPS 衛星から自動取得又は手動設定となります。 TS-2530ご使用中のお客様へ バージョン4.109より以前のバージョンではうるう秒・時刻修正の 処理に不具合がございます。ご使用中のお客様は最新版ファーム ウェアへのアップデートをお願いいたします。

2. うるう秒未対応機種一覧

機種	備考
SC-8210+TDC-50	SC-8210、TDC-50はうるう秒対応していません

3. タイムサーバのうるう秒調整機能

うるう秒調整方法は下記のように2種類あります。
設定の確認方法については各機器の取扱説明書をご参照願います。

① アジャスト(TS-2010/2540)／漸次(TS-2520/2530)

タイムサーバはうるう秒実施時刻の約2時間前から徐々に時計を調整し午前9:00に1秒の調整を終了します。
この設定ではNTPパケットのうるう秒指示子*2 をセットしません。

② 即時(TS-2010/2540)／瞬時(TS-2520/2530)

タイムサーバはうるう秒実施時刻の24時間前からNTPパケットのうるう秒指示子を"01"(うるう秒挿入)にセットし、うるう秒実施当日の午前9:00(直前)にうるう秒調整を行い、以降うるう秒指示子がリセットされます。

*2 うるう秒指示子 :LIビットまたは Leap Indicator と呼ばれる SNTP/NTP パケット内のうるう秒実施予告情報フィールドのことです。

なお、上記設定変更後は再起動が必要になります。再起動から時刻が配信可能となるまでに要する時間は以下の通りです。

TS-2010(10秒程度)、TS-2520(5分程度)

TS-2530(15分程度)、TS-2540(タイプにより5～15分程度)

4. お問い合わせ先

メール support@seiko-p.co.jp

以上